

QuickSmarts

事故を防げる運転



経験の浅い若いドライバーにとって、何よりも頼りになるのは彼らを大切に思っている経験のあるドライバーの監督の下での路上運転の練習に勝るものはありません。

より良いドライバーになるための最善の方法は、経験豊富なドライバーと実際の状況で何時間も注意深く運転することです。

親御さんの多くは、若いドライバーがドライバートレーニングまたは「防御運転」コースを修了することにも熱心です。コースにはいくつかのタイプがあります。若いドライバーがより安全なドライバーになるように特別にコースデザインされたものもあれば、そうでないものもあるため、慎重に選択することが重要です。

事 実

実際の道路ではなく、特別に作られたコースで実施される、高度な車両の操作と操縦を取得することを目的としたコースは、若いドライバーにとっては限られた価値しかないだけでなく、かえって悪影響を及ぼすことさえあります。彼らは自らの能力に対し誤った感覚を生み出す可能性—特に若い男性の間で、自信過剰になり、実際の道路でリスクを負ってしまう傾向があります。

集中コースのもう1つの潜在的な問題は、速習したスキルは、定期的には実践されないと、簡単に忘れられてしまうことです。事故は比較的まれにしか発生しないため、得られたスキルは、ほとんど使用されない為に次第に衰えていきます。

しかし、若いドライバーが利用する価値があるコースもあります。ドライバーコースを選択する時には、事前に危険を認識し、特定の状況で何をすべきか、運転に自信を持ち、いざという時にもパニックにならず、落ち着いて安全運転をする、などに取り組んでいるコースを探すと良いでしょう。

コースを選ぶ際のトピック

•脳がどのように危険を認知するか-

これは、その先で起こりうる危険を予測することです。たとえば、道路の曲がり角に差し掛かったとき、ドライバーは歩道で子供たちがボールで遊んでいるのに気づきます。ドライバーコースでは、「子供はまだ非常に幼く、道路での経験が少ないため、路上でボール追っつて、道路に飛び出す可能性があるため、彼らが急に飛び出しても止まれるようにスピードを落とす。」というように、受講者が先に起こり得ることを考えるよう指導します。

•状況認識-

これは、周りの状況を把握することを意味します。たとえば、高速道路を運転しているとき、突然車の赤いブレーキランプがたくさん点灯し、遠くからサイレンの音が聞こえてきます。これらはすべて、前方で事故が発生した可能性があることを示す手がかりであり、ドライバーは減速を始め、ラジオの音量を下げ、バックミラーをチェックして、救急車がどこから来ているのかを予測し、道を譲る準備を始めます。

コースを選ぶ際のトピック

•自信過剰の軽減

運転免許を取得するために学んだあらゆることを実際の運転に活かすためには、自信を持つことは重要です。しかし、時には運転免許を取ったということ、親からの自立、そしてリスクを取る傾向などの組み合わせは危険な場合もあります。一般道路は、コンピューターゲームやレーストラックを走る体験の場ではありません。

アドレナリンでアクセルを踏み込み、映画で見るようなスタントを試してみるのはカッコよく聞こえるかもしれませんが、研究によると、オフロードでの操縦を教える集中コースは、運転者の自信過剰と相俟って、実際の道路でのリスクテイキングを高める可能性があります。

たった2秒間のスリルが生涯にわたる悪い結果をもたらす可能性があるということを知らしめるためには、体験者による実体験に基づいた実話、過去の危険な行為に対する反省などに触れるのがいい方法でしょう。

•リスク回避戦略の習得-

これは、忍耐強く、落ち着いて冷静に、予期せぬことが起こりうるかもしれないことを予測し、そのような状況で事態が悪くなったり事故を起こしたりしないようにどのように行動したらよいかを学ぶことです。

同時に、危険な運転手が道路上にいるということも覚えておいてください。（例：携帯電話の使用、無理な車線変更をする、スピード違反、ラウンドアバウト交差点を正しくウィンカーを示すことを忘れてたり、道路規則に従わないなど）。安全に対処する方法を学ぶことは、おこりうる危険な事故を回避することに繋がるかもしれません。

•友人の要求を断る勇気-

若者とその両親は、免許を取得するために莫大な投資をします、しかし時として友人の少しだけ道路交通法に反したことをしようという友人からの誘惑により無に帰すこともあります。

クイーンズランド州の段階的なライセンスシステムは、新しいドライバーが安全に走行できるようにスキルと経験を構築するという目的のために厳格です。

ドライバートレーニングコースを検討する際に確認すべき事は、次のとおりです。

- このコースは若者向けに特別にコースデザインされていますか？ プロまたは経験豊富なドライバー向けにデザインされたコースを避けることが重要です。
- コースは、運転者教育の分野における交通安全の専門家、心理学と交通安全研究の意見に基づいて開発されていますか？
- コースは、若いドライバーが安全なドライバーになることを目的としてコースデザインされましたか？

車の運転と緊急操作に主に焦点を当てたコースは避けてください。そういったコースは、若いドライバーにとってより魅力的かもしれませんが（彼らは楽しそうに見えると思う）、運転者の態度と行動を重視するコースに比べて、安全運転に関してはあまり学ぶことができません。

若いドライバーがコースを完了したら、彼ら自身と運転について何を学んだか尋ねてください。そしてその知識をどのように活かしていくのか聞いてみてください。